

ダイナミックマップセンター（プロトタイプ）
クライアント端末ソフトウェア取扱説明書
（2016 年度版）

2017 年 3 月

ダイナミックマップ構築検討コンソーシアム

目次

1. 総則.....	3
1.1. 適用.....	3
1.2. 適用範囲	3
1.3. 注意事項	3
2. 動作環境.....	3
3. 操作説明.....	4
3.1. VPN ソフトウェア	4
3.1.1. 起動および終了.....	4
3.1.1.1. 起動.....	4
3.1.1.2. 終了.....	5
3.2. 基盤的地図配信ソフトウェア	6
3.2.1. 起動および終了.....	6
3.2.1.1. 起動.....	6
3.2.1.2. 終了.....	6
3.2.2. 操作説明.....	7
3.2.2.1. 基盤的地図ダウンロード画面へログインする	7
3.2.2.2. 基盤的地図情報をダウンロードする【Google Chrome】	10
3.2.2.3. 基盤的地図情報をダウンロードする【Internet Explorer 11】	12
3.2.2.4. 基盤的地図ダウンロード画面からログアウトする.....	14
3.3. 準動的情報受信ソフトウェア	16
3.3.1. ディレクトリ／ファイル構成.....	16
3.3.2. 起動および終了.....	17
3.3.2.1. 起動.....	17
3.3.2.2. 終了.....	18
3.3.3. 操作説明.....	19
3.3.3.1. 準動的情報の受信を開始する.....	19
3.3.3.2. 準動的情報の受信を停止する.....	24
3.3.3.3. イベントログをクリアする	26
3.3.4. 設定ファイル.....	28
3.3.4.1. SemiDynamicReceive.ini	28
3.3.4.2. Log4net.Config.xml.....	30

1. 総則

1.1. 適用

本書は、ダイナミックマップセンター（プロトタイプ）の地図サプライヤ向けクライアント端末ソフトウェアの取扱説明書(操作手順書)である。

1.2. 適用範囲

本書はダイナミックマップセンター（プロトタイプ）の地図サプライヤ向けクライアント端末ソフトウェアに適用する。

1.3. 注意事項

本書内の画像中で使用されている WEB ブラウザは、特筆している場合を除き Google Chrome を使用しています。

Internet Explorer 11 とは、表示されるメッセージが異なる場合がありますのでご了承ください。

2. 動作環境

表 2-1 動作環境

No	ソフトウェア	構成品目
1	VPN ソフトウェア	OS : Windows 7 または Windows10
2	基盤的地図配信ソフトウェア※	OS : Windows 7 または Windows10
3	準動的情報受信ソフトウェア	OS : Windows 7 または Windows10 ランタイム : .NET Framework 4.5.2

基盤的地図配信ソフトウェアは、Google Chrome または Internet Explorer 11 で実行。

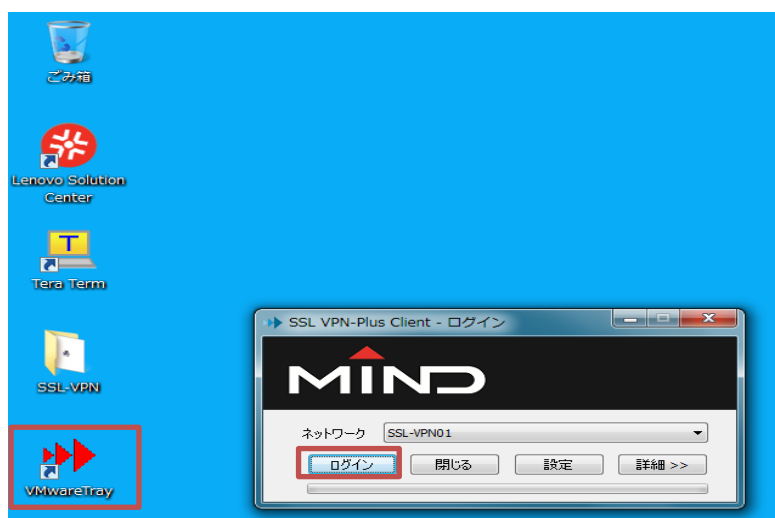
3. 操作説明

3.1. VPN ソフトウェア

3.1.1. 起動および終了

3.1.1.1. 起動

- (1) デスクトップ上のアイコン「VMWareTray」をダブルクリックし、「SSL VPN-Plus Client - ログイン」のウィンドウが表示されたら、「ログイン」をクリックしてください。



- (2) ユーザー認証画面が表示されますので、「VPN 接続:ユーザーID/パスワード」を入力し、「OK」をクリックして下さい。

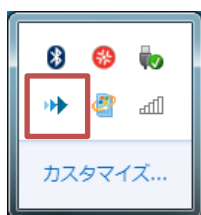


- (3) 「SSL VPN 接続が確立されました。」と表示されますので「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じて下さい。



3.1.1.2. 終了

- (1) パソコン画面右下のタスクバーの横向きの▲が3つ重なった青いアイコンを右クリックするとメニューを表示します。



- (2) 「ログアウト」または「終了」を選択し、VPN 接続を解除します。

※ その他のメニューは使用しないで下さい。



※VPN 接続が解除されると、基盤的地図のダウンロード、準動的情報の受信が終了します。

すべての操作を終了してから、VPN 接続の解除を実施してください。

3.2. 基盤的地図配信ソフトウェア

3.2.1. 起動および終了

3.2.1.1. 起動

(1) WEB ブラウザ(Google Chrome、または、Internet Explorer 11)を起動します。

3.2.1.2. 終了

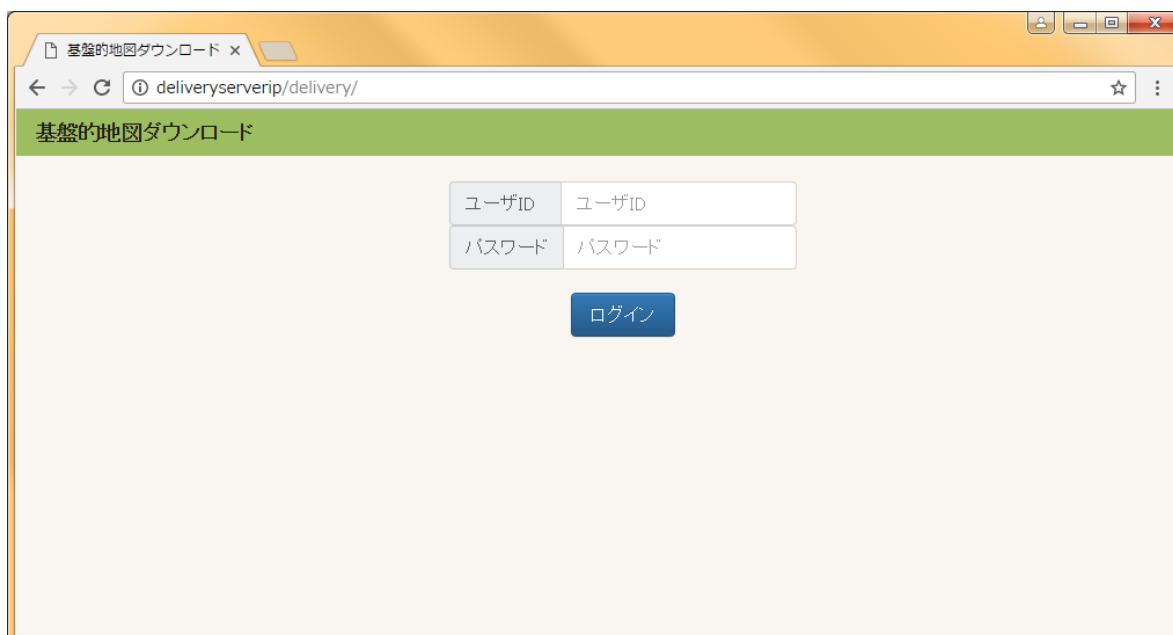
(1) 基盤的地図ダウンロード画面で「ログアウト」リンクを押下し、ログアウトします。

(2) WEB ブラウザ(Google Chrome、または、Internet Explorer 11)メニューの終了を選択、または、終了ボタン「×」を押下します。

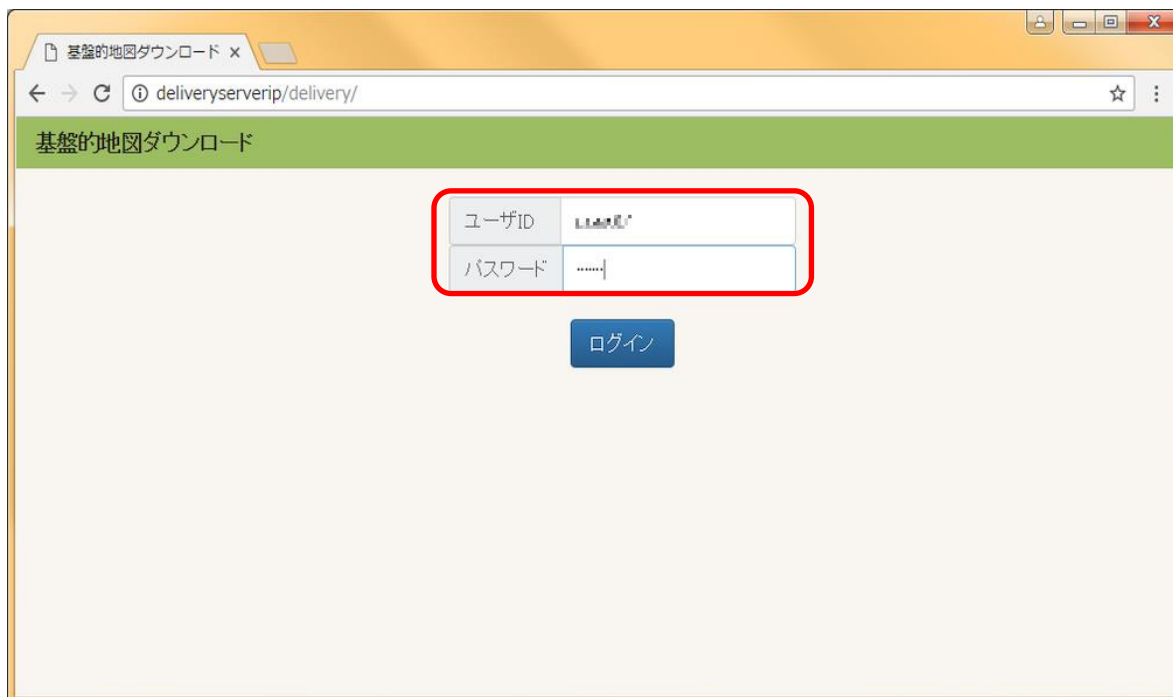
3.2.2. 操作説明

3.2.2.1. 基盤的地図ダウンロード画面へログインする

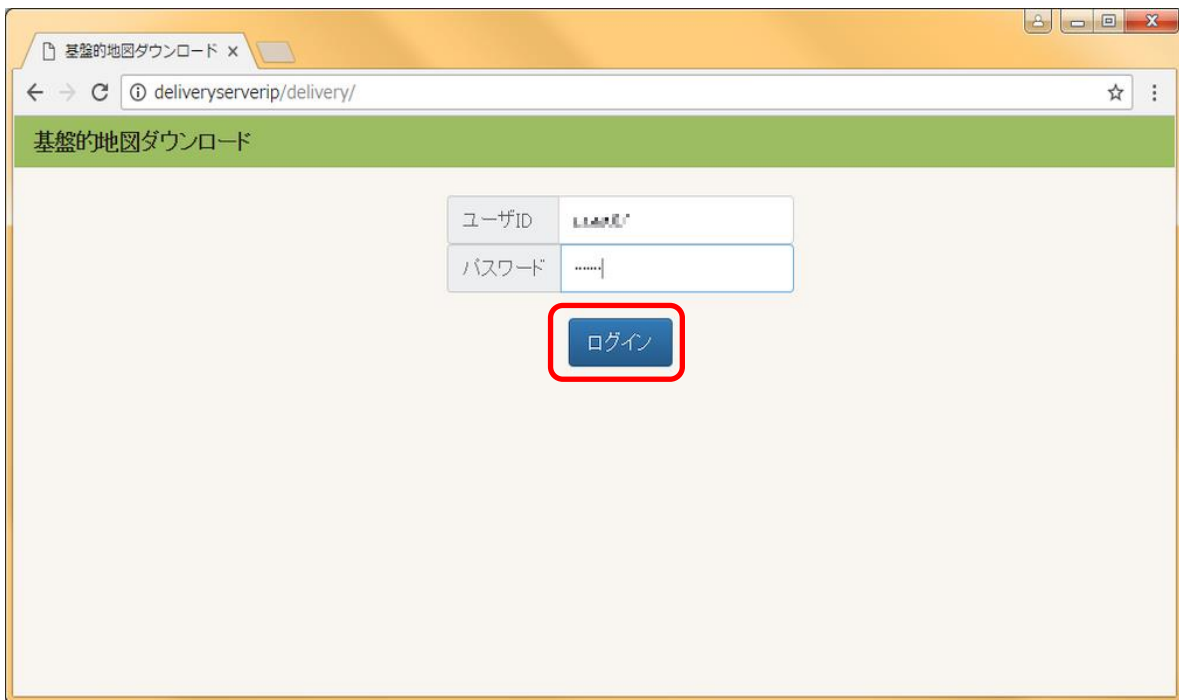
- (1) WEB ブラウザ(Google Chrome、Internet Explorer 11)でログイン画面にアクセスします。
ログイン画面の URL は「http://<配信サーバの IP>/delivery/」になります。



- (2) 「ユーザ ID」と「パスワード」を入力します。
「パスワード」の入力内容は、セキュリティのため「・」で表示されます。



(3) 「ログイン」 ボタンを押下します。

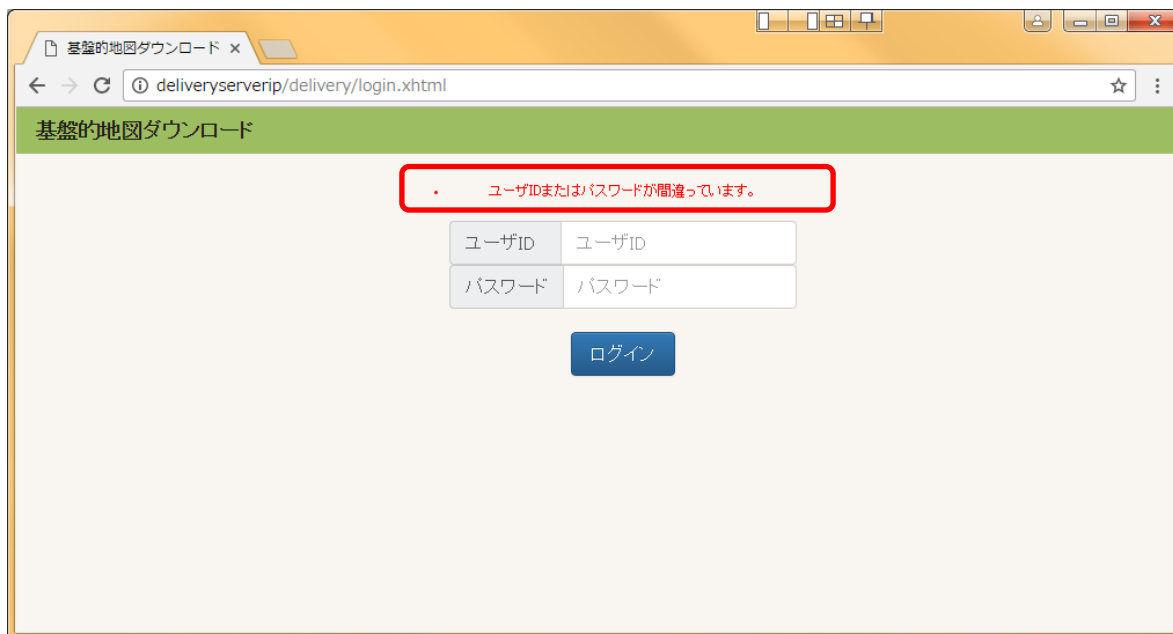


(4) ログインに成功すると、基盤的地図ダウンロード画面に遷移します。



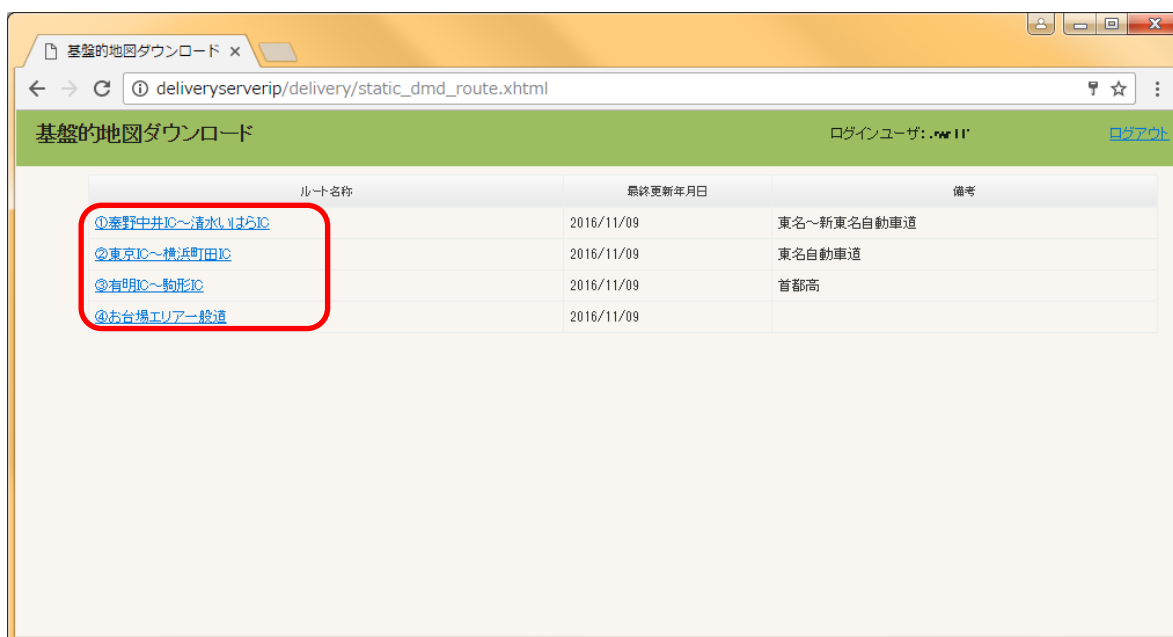
※ログインに失敗した場合、「ユーザ ID またはパスワードが間違っています。」メッセージが表示されます。

入力したユーザ ID およびパスワードを確認してください。

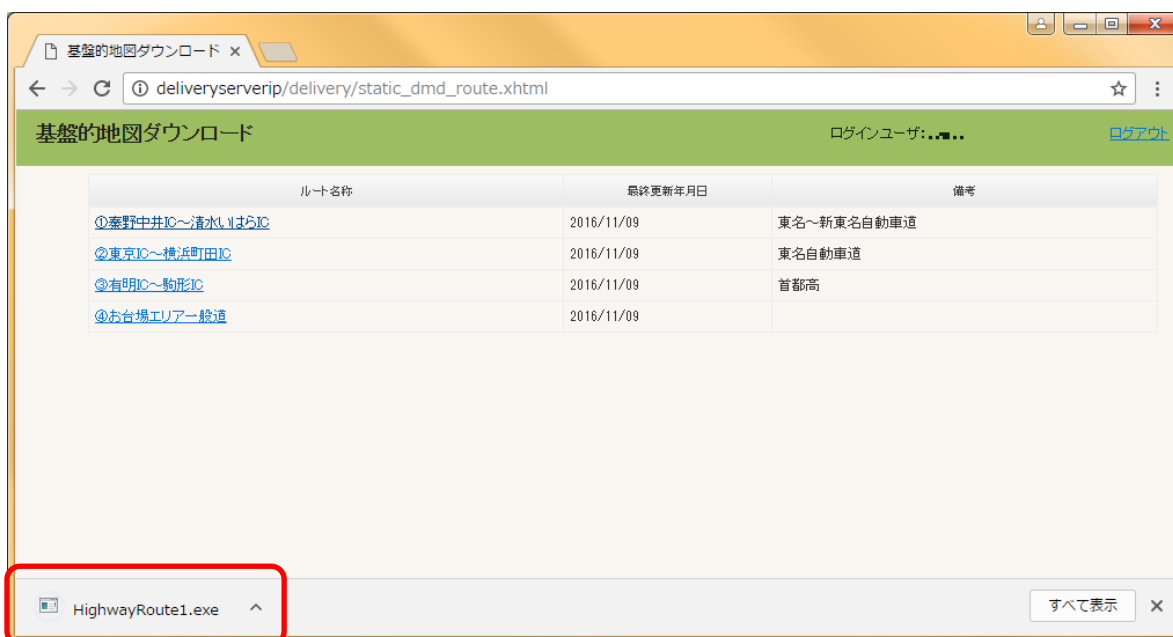


3.2.2.2. 基盤的地図情報をダウンロードする【Google Chrome】

(1) ダウンロードしたいルート名称のリンクを押下します。



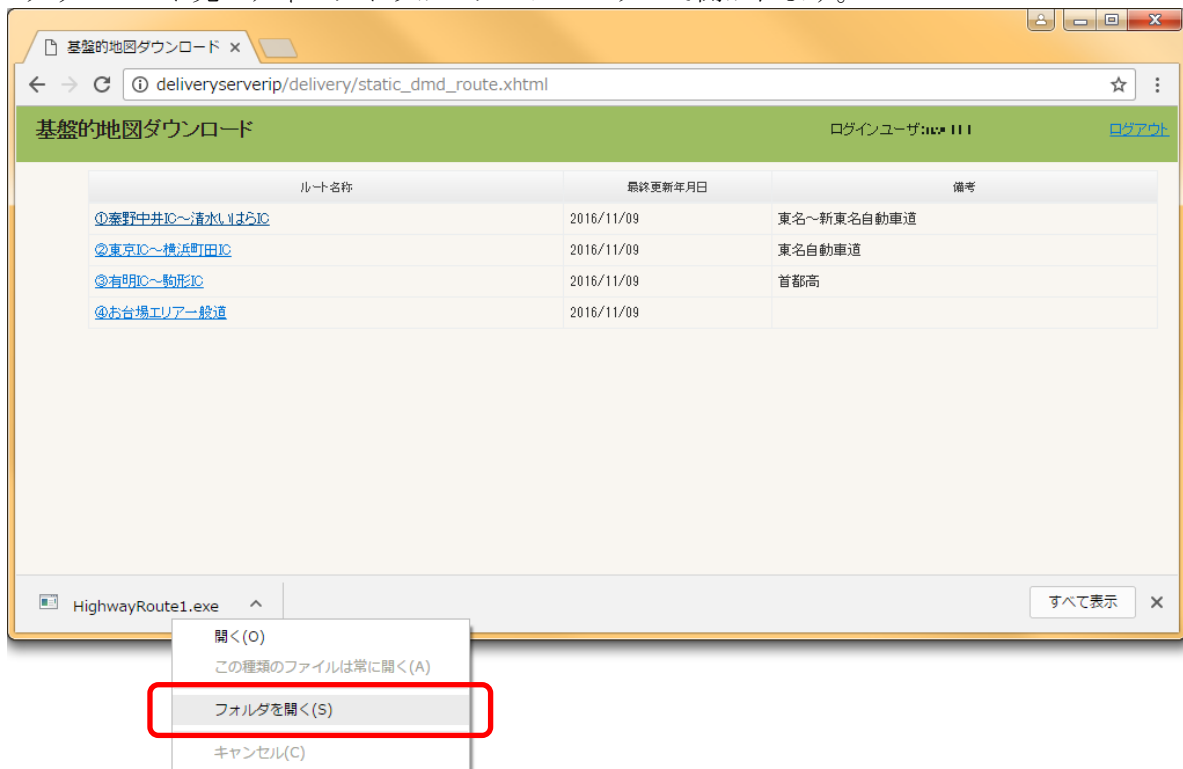
(2) 選択したルートの基盤的地図情報がダウンロードされます。



※ブラウザの設定により、ファイルの保存先を指定する画面が表示される場合があります。

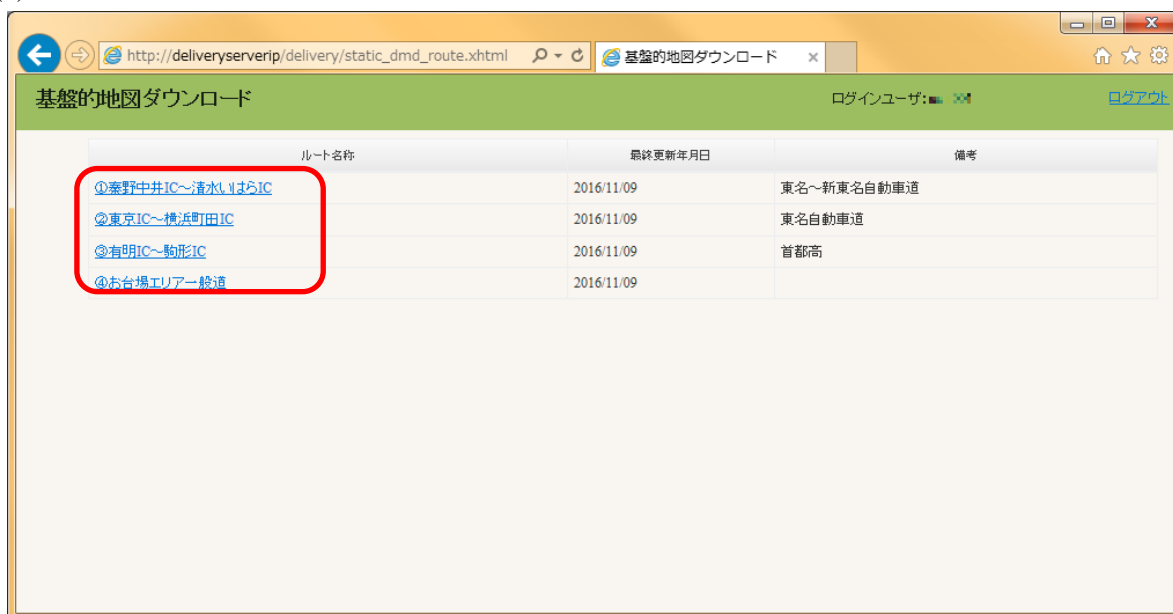
「設定」→「詳細設定を表示...」→「ダウンロード」から動作を変更できます。

- (3) ダウンロードされたファイルの確認は、「^」ボタンを押下し、メニューから「フォルダを開く(S)」を選択します。
ダウンロード先のディレクトリがエクスプローラーで開かれます。

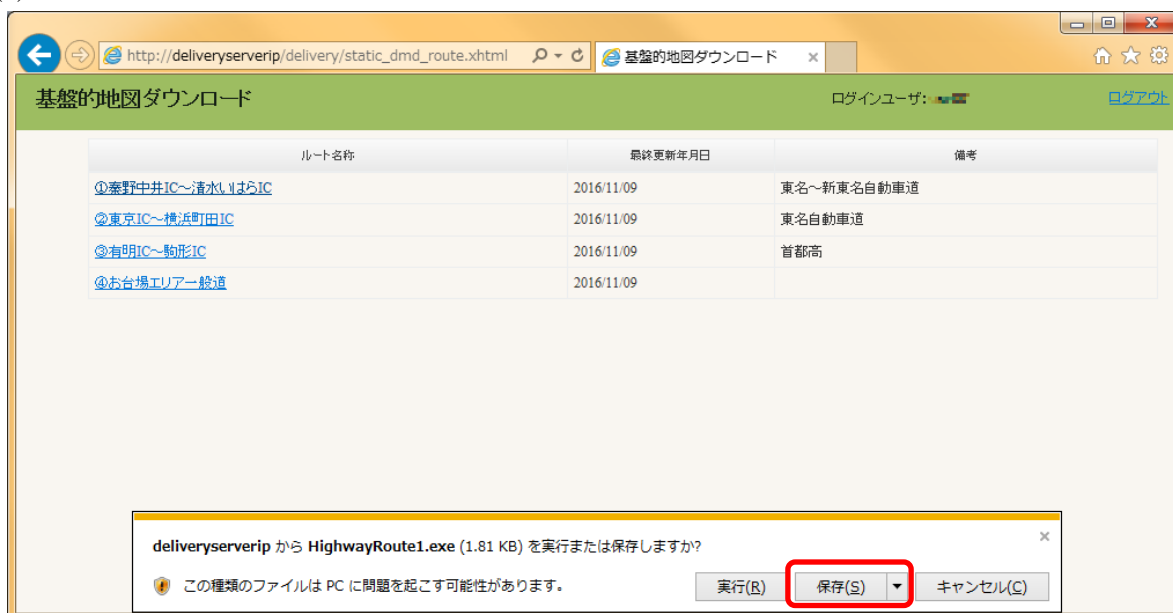


3.2.2.3. 基盤的地図情報をダウンロードする【Internet Explorer 11】

(1) ダウンロードしたいルート名称のリンクを押下します。



(2) ダウンロード確認ダイアログに対し、「保存」ボタンを押下します。



(3) 選択したルート^①の基盤的地図情報がダウンロードされます。



(4) ダウンロードされたファイルの確認は、「フォルダーを開く(P)」ボタンを押下します。ダウンロード先のディレクトリがエクスプローラーで開かれます。

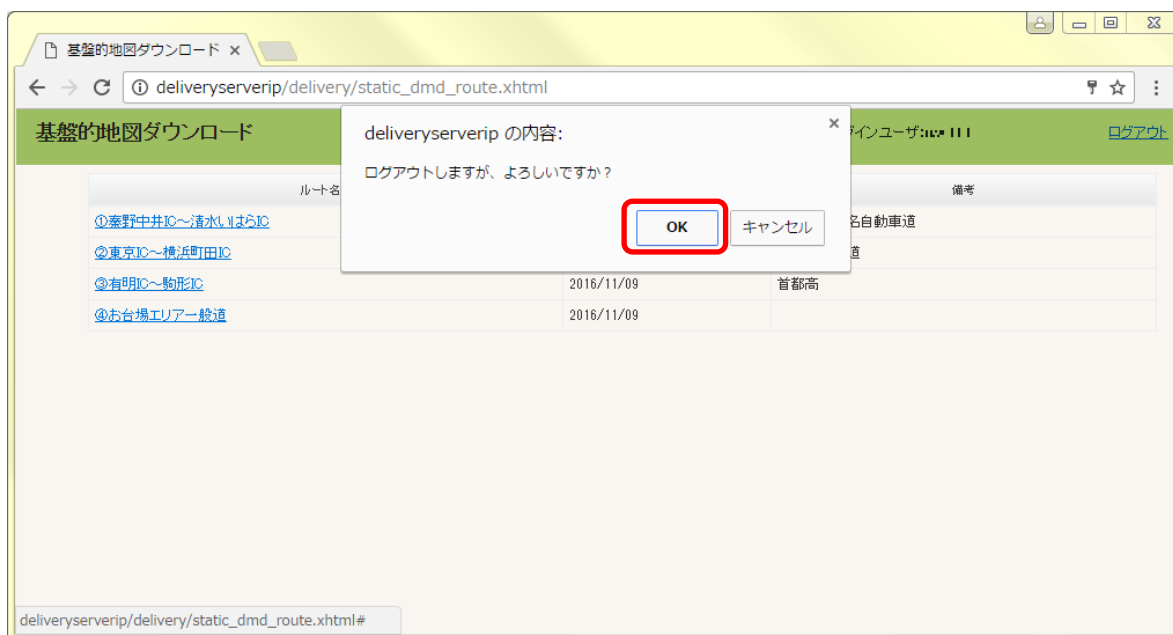


3.2.2.4. 基盤的地図ダウンロード画面からログアウトする

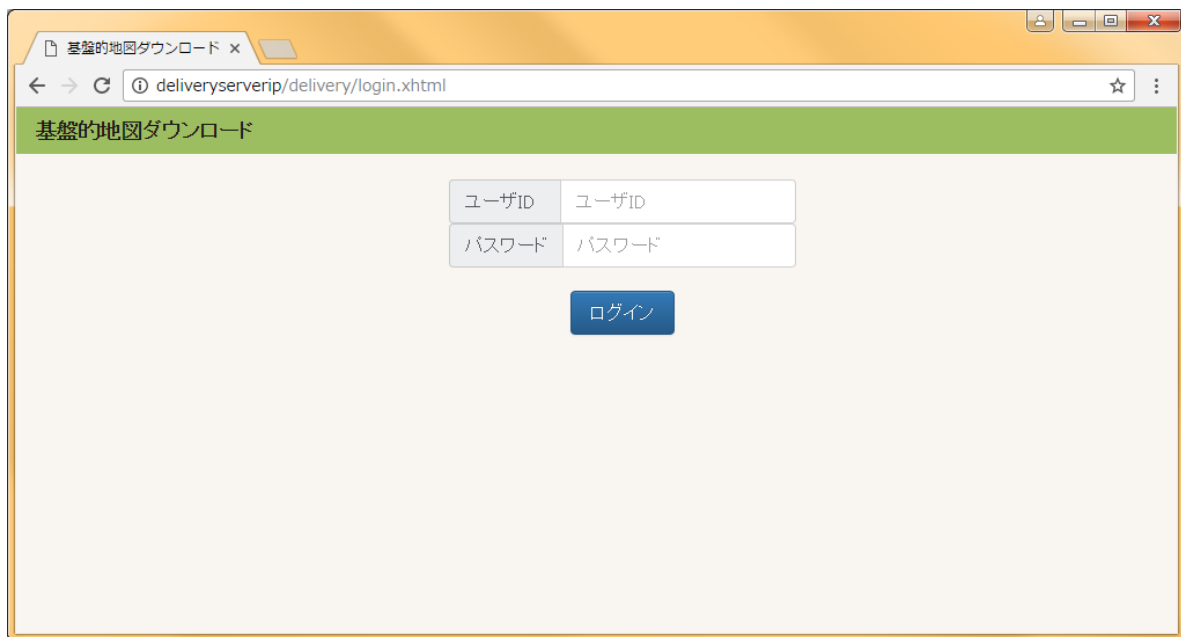
(1) 「ログアウト」リンクを押下します。



(2) 「ログアウトしますが、よろしいですか？」の確認に対して、「OK」ボタンを押下します。



(3) 基盤的地図ダウンロード ログイン画面に遷移します。



3.3. 準動的情報受信ソフトウェア

3.3.1. ディレクトリ／ファイル構成

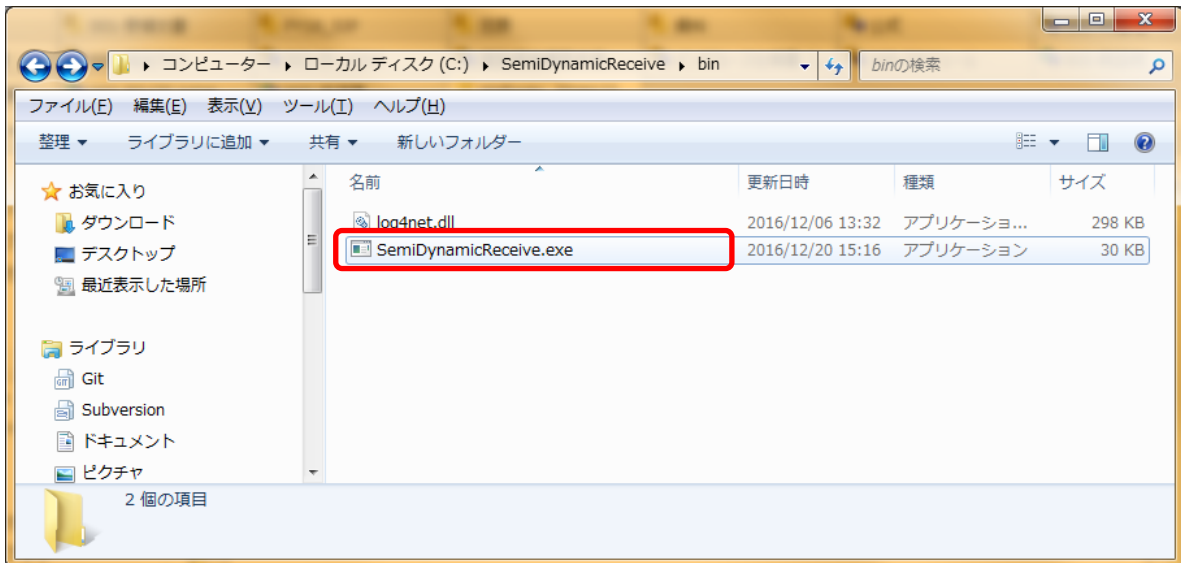
表 3.3.1-1 準動的情報受信ソフトウェア ディレクトリ／ファイル構成

No	ディレクトリ/ファイル名	用途
1	DMHOME	準動的情報受信ソフトウェア ルートディレクトリ
2	bin	実行ファイル 格納ディレクトリ
3	SemiDynamicReceive.exe	実行ファイル
4	log4net.dll	ログライブラリ
5	data	準動的情報 格納ディレクトリ
6	YYYYMMDD	YYYYMMDD : 年月日
7	HighwayYYYYMMDDhhmm	高速道準動的情報 格納ディレクトリ
8	TrafficJamInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	交通渋滞情報
9	TrafficRegulationInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	交通規制情報
10	HighwayExitInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	自動車専用道の出入り口の閉鎖情報
11	TunnelClosureInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	トンネルの閉鎖情報
12	StopVehicleInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	停車車両情報、落下物情報
13	WinterClosureInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	冬季閉鎖情報
14	:	—
15	GeneralYYYYMMDDhhmm	一般道準動的情報 格納ディレクトリ
16	TrafficJamInf_02_YYYYMMDDhhmm.csv	交通渋滞情報
17	TrafficRegulationInf_01_YYYYMMDDhhmm.csv	交通規制情報
18	HighwayExitInf_02_YYYYMMDDhhmm.csv	自動車専用道の出入り口の閉鎖情報
19	TunnelClosureInf_02_YYYYMMDDhhmm.csv	トンネルの閉鎖情報
20	StopVehicleInf_02_YYYYMMDDhhmm.csv	停車車両情報、落下物情報
21	WinterClosureInf_02_YYYYMMDDhhmm.csv	冬季閉鎖情報
22	:	—
23	:	—
24	env	設定ファイル 格納ディレクトリ
25	SemiDynamicReceive.ini	アプリケーション設定ファイル
26	Log4net.Config.xml	ログ設定ファイル
27	log	ログファイル 出力先ディレクトリ
28	LogFile_YYYYMMDD.log	[ログ設定ファイルのデフォルト設定 時] ログファイル YYYYMMDD : 年月日
29	:	—

3.3.2. 起動および終了

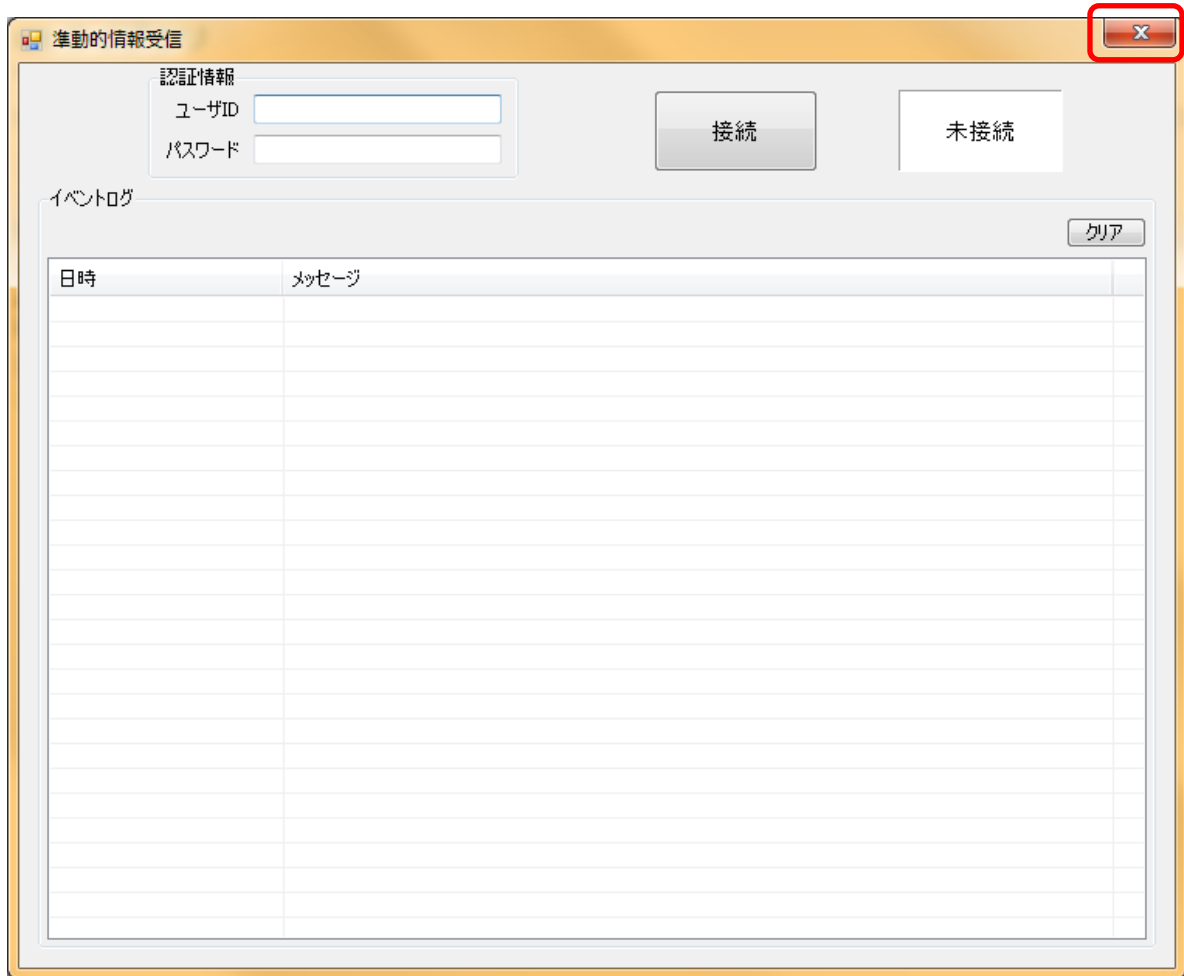
3.3.2.1. 起動

(1) SemiDynamicReceive.exe を実行します。

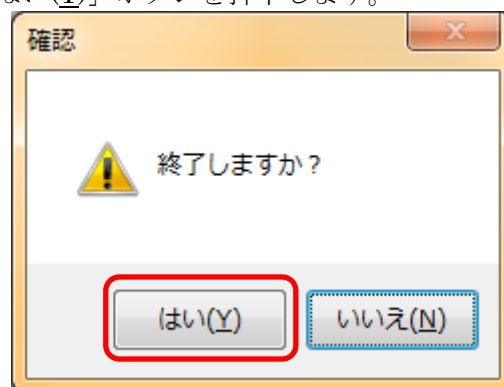


3.3.2.2. 終了

(1) 閉じる(×)ボタンを押下します。



(2) 確認ダイアログに対し、「はい(Y)」ボタンを押下します。



3.3.3. 操作説明

3.3.3.1. 準動的情報の受信を開始する

- (1) 「ユーザ ID」と「パスワード」を入力します。
「パスワード」の入力内容は、セキュリティのため「*」で表示されます。

The screenshot shows a Windows application window with the following components:

- Title Bar:** 準動的情報受信
- Authentication Section (認証情報):**
 - Two input fields: ユーザID (User ID) and パスワード (Password). The password field is currently masked with asterisks and is highlighted with a red rectangular box.
 - Buttons: 接続 (Connect) and 未接続 (Not Connected).
- Event Log Section (イベントログ):**
 - Header: イベントログ (Event Log) with a クリア (Clear) button on the right.
 - Table with 2 columns: 日時 (Date/Time) and メッセージ (Message).
 - Table body: Multiple empty rows for logging events.

(2) 「接続」 ボタンを押下します。

進動的情報受信

認証情報

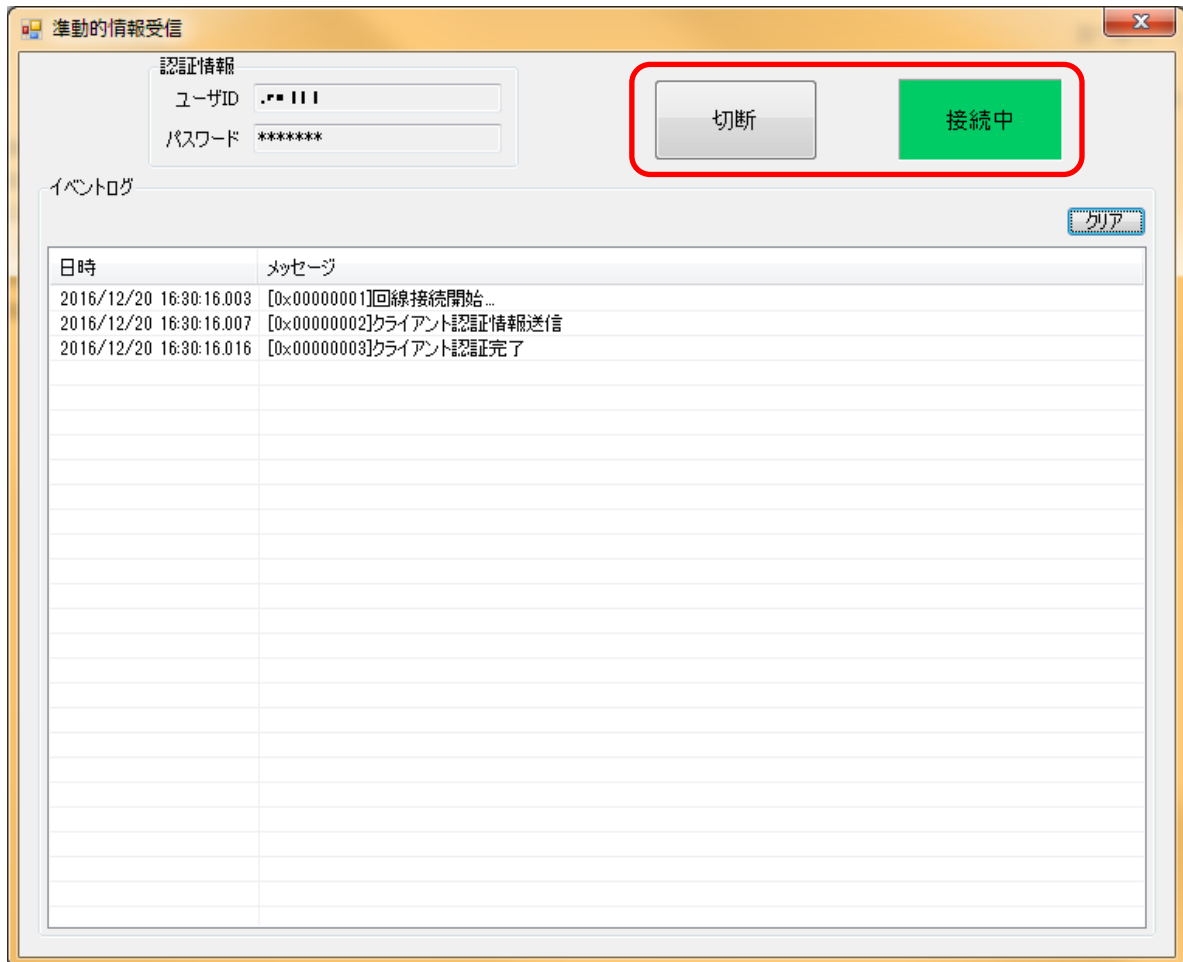
ユーザーID

パスワード

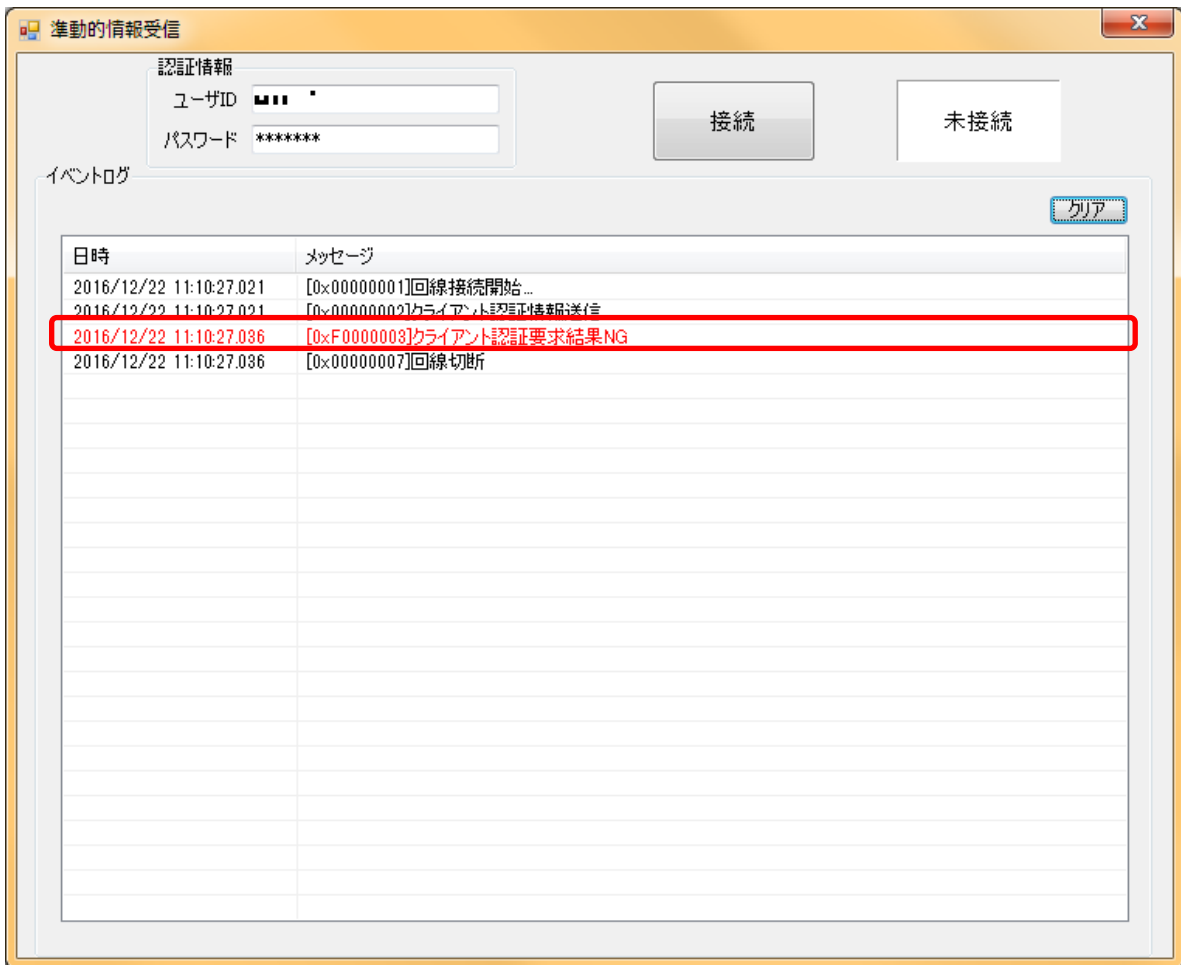
イベントログ

日時	メッセージ

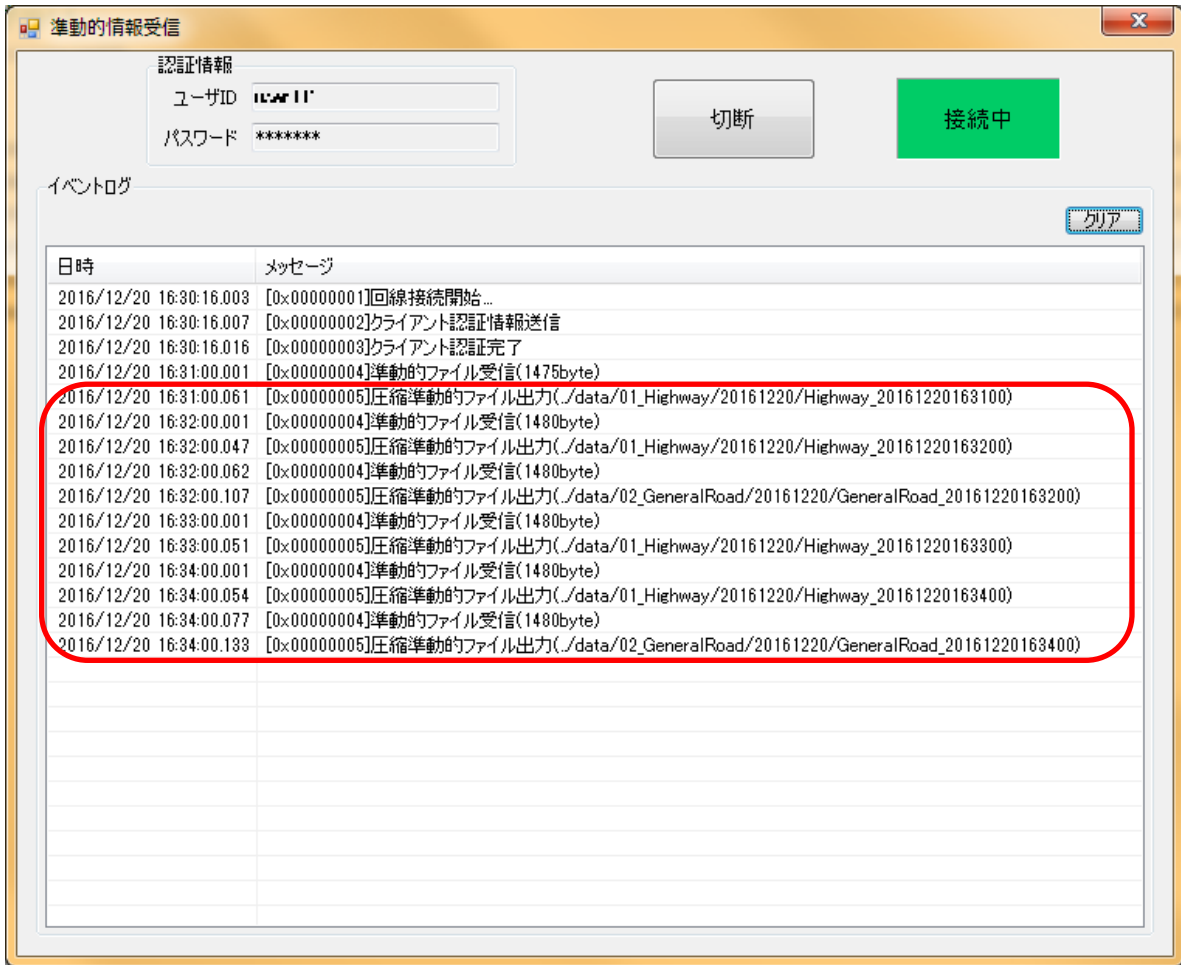
- (3) ログインに成功した場合は、「接続」ボタンが「切断」ボタンに、「未接続」が緑色背景で「接続中」となります。
また、イベントログに「クライアント認証完了」が表示されます。



※ログインに失敗した場合、イベントログに「クライアント認証要求結果 NG」が表示されます。
入力したユーザ ID およびパスワードを確認してください。

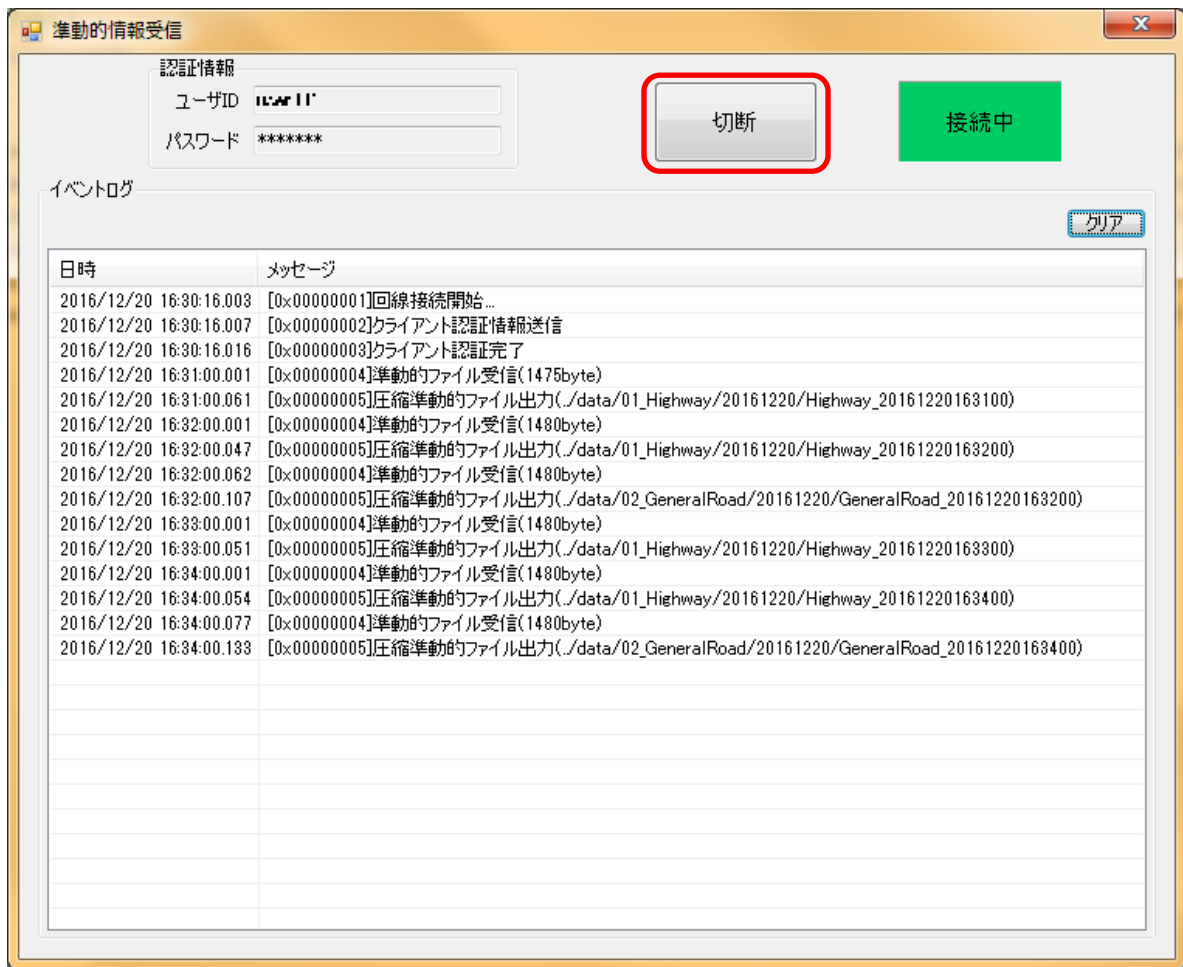


- (4) 「接続中」の状態です。サーバから準動的情報が配信されると、本ソフトウェアが自動的に受信し、ファイルを保存します。

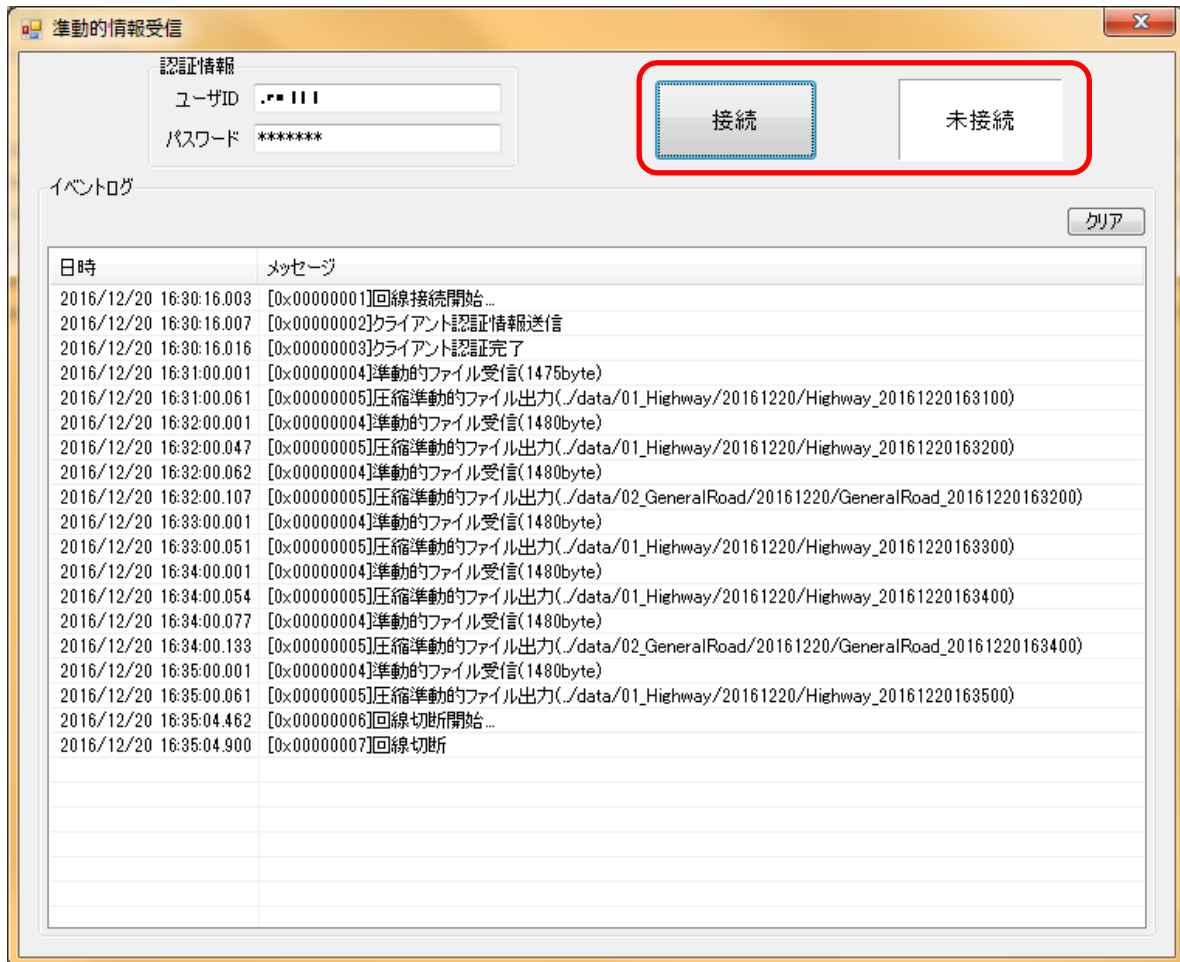


3.3.3.2. 準動的情報の受信を停止する

- (1) 「切断」 ボタンを押下します。

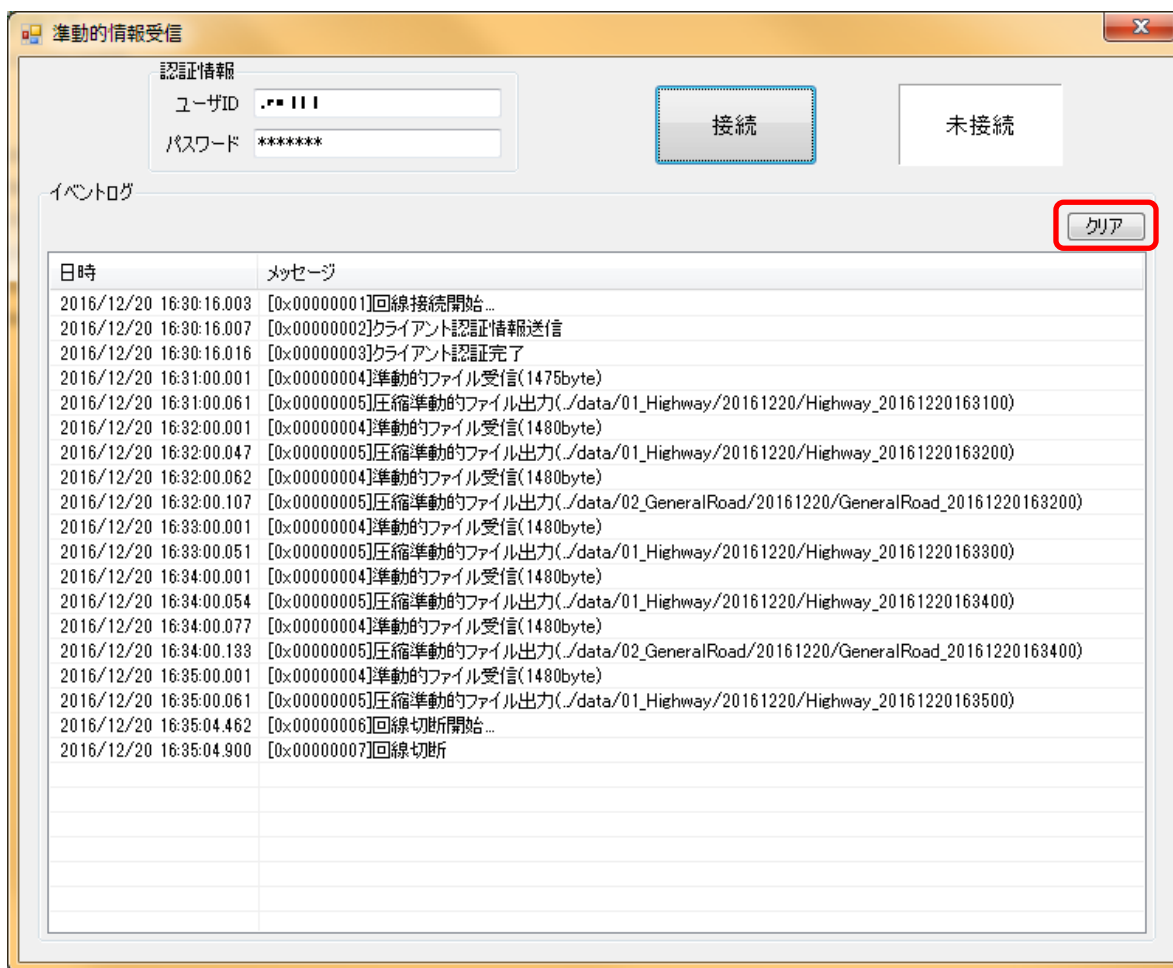


- (2) 正しく切断された場合は、「切断」ボタンが「接続」ボタンに、「接続中」が白色背景で「未接続」となります。
また、イベントログに「回線切断」が表示されます。



3.3.3.3. イベントログをクリアする

(1) 「クリア」ボタンを押下します。



- (2) イベントログに表示されていた内容がクリアされます。
ログファイルや既に受信した準動的情報は削除されません。

準動的情報受信

認証情報

ユーザID uvv11)

パスワード *****

接続 未接続

イベントログ

クリア

日時	メッセージ
----	-------

3.3.4. 設定ファイル

3.3.4.1. SemiDynamicReceive.ini

表 3.3.4-1 SemiDynamicReceive.ini パラメータ一覧

No	セクション/キー	パラメータ詳細	備考
1	NET	—	
2	IP	接続先の IP アドレスを指定します。	
3	Port	接続先のポート番号を指定します。	
4	RCVDATA	—	
5	Highway_DirPath	高速道準動的受信情報の出力先ディレクトリを指定します。 設定値は、準動的情報受信ソフトウェア ルートディレクトリからの相対パスになります。	
6	GeneralRoad_DirPath	一般道準動的受信情報の出力先ディレクトリを指定します。 設定値は、準動的情報受信ソフトウェア ルートディレクトリからの相対パスになります。	
7	DISPLAY	—	
8	MaxLine	画面上のイベントログに表示する最大行数を設定します。 イベントログ行数が設定値を超えた場合、古いイベントログから削除されます。	最大設定値： 10000 行
9	TIMER	—	
10	ClientAuth	「接続」ボタンを押してから、サーバが応答を返すまでの待ち時間を設定します。 待ち時間を経過してもサーバから応答がない場合、接続処理を中断します。	単位：ミリ秒
11	GetData	データ受信のチェック周期を設定します。 値が小さいほどチェックが早くなりますが、システムへの負荷が大きくなります。	単位：ミリ秒
12	LOGMESSAGE	イベント発生時に出力されるログを設定します。	

```
[NET]
IP=127.0.0.1
Port=11500

[RCVDATA]
Highway_DirPath=data
GeneralRoad_DirPath=data

[DISPLAY]
MaxLine=10000

[TIMER]
ClientAuth=5000
GetData=100

[LOGMESSAGE]
Info.0001=[0x00000001]回線接続開始...
Info.0002=[0x00000002]クライアント認証情報送信
Info.0003=[0x00000003]クライアント認証完了
Info.0004=[0x00000004]準動的ファイル受信
Info.0005=[0x00000005]圧縮準動的ファイル出力
Info.0006=[0x00000006]回線切断開始...
Info.0007=[0x00000007]回線切断
Info.0008=[0x00000008]ログファイル作成
Warn.0001=[0x80000001]準動的ファイル受信失敗
Error.0001=[0xF0000001]回線接続失敗
Error.0002=[0xF0000002]クライアント認証要求送信タイムアウト
Error.0003=[0xF0000003]クライアント認証要求結果 NG
```

図 3.3.4-1 SemiDynamicReceive.ini サンプル

3.3.4.2. Log4net.Config.xml

表 3.3.4-2 Log4net.Config.xml パラメータ一覧

No	パラメータ	要素名	パラメータ詳細	備考
1	param	File	ログファイルの出力先ディレクトリ、ファイル名を指定します。 実行ファイル 格納ディレクトリからの相対パスになります。	
2		DataPattern	ログファイル名に追加するパターンを指定します。 RollingStyle が Date もしくは Composite の際に、File の設定値に続けて設定されます。	
3		RollingStyle	ログファイルの切り替え条件を指定します。 Once : プログラム起動時に切り替え Size : MaximumFileSize の設定値に達した場合に切り替え Date : 日付が変わった時に切り替え Composite : Size と Date を組み合わせた条件で切り替え	
4		StaticLogFileName	ログファイル名を固定にするかを設定します。 True : File の設定値で固定 False : RollingStyle と DataPattern に基づいたファイル名	
5		AppendToFile	ログファイルの追記モードを指定します。 True : 追記 False : 上書き	
6		MaximumFileSize	ログファイルの最大サイズを指定します。 RollingStyle が Size または Composite の時のみ有効になります。	
7		MaxSizeRollBackups	ログファイル切り替え時のバックアップ数を指定します。 この値を超えたバックアップは削除されます。	
8	level	-	ログファイルに出力するログレベルを指定します。 指定されたログレベル以上のログが出力されます。 ログレベル : TRACE<INFO<WARN<ERROR	

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<configuration>
  <log4net>
    <!-- デバッグ用 : 分割ファイル出力 -->
    <appender name="DebugLogDailyAppender" type="log4net.Appender.RollingFileAppender">

      <!-- ファイル名は日付ごと -->
      <param name="File" value="../log/LogFile_" />
      <param name="DatePattern" value='yyyyMMdd".log"' />
      <param name="RollingStyle" value="Composite" />
      <param name="StaticLogFileName" value="false" />
      <param name="AppendToFile" value="true" />
      <filter type="log4net.Filter.LevelRangeFilter">
        <!-- <param name="LevelMax" value="FATAL" /> -->
        <param name="LevelMin" value="TRACE" />
      </filter>

      <param name="MaximumFileSize" value="1000MB" />
      <param name="MaxSizeRollBackups" value="10" />

      <layout type="log4net.Layout.PatternLayout">
        <ConversionPattern value="%date [%2thread] [%-5level] %class %method(%line) - %message%n" />
      </layout>
    </appender>

    <root>
      <!-- INFO 以上のログを記録 -->
      <level value="INFO" />
      <!-- 使用する Appender -->
      <appender-ref ref="DebugLogDailyAppender" />
    </root>

  </log4net>
</configuration>

```

図 3.3.4-2 Log4net.Config.xml サンプル